



## 【ご協力ありがとうございました ～親子で道徳～】

夏休み中に親子で道徳の副読本（『こころ はばたく』、『心きらめく』、『心ときめく』）を読んで、思ったことや感じたことを書くという宿題がありました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

親子の感想を少しご紹介します。

### <1年> 「おはかまいり -河合雅雄-」

#### ○わたし・ぼくが思ったこと

そうはしんだあとほねをはなでなでることをはじめてしりました。しらなかったからすごいとおもいました。ばあばのいえにじいじのほねがあります。そのまえでいつもぼくは、「またいっしょにあそぼうね。また、おいしいごはんたべようね。」とはなすのとなでているとおもいました。

#### ○お家の方の感想

今年の4月に息子にとって祖父、私の父が亡くなりました。まだ、納骨していませんので、実家には骨壺があります。実家に行くと息子はいつも1番に手を合わせます。何やら話をしているので父も喜んでいるのではないかと思います。好きだった物を供えるなど、そうとなでているなど私も思いました。「子どもはお母さんの亡骸を一生覚えていく」本当にその通りだと思う毎日です。父のことがずっと心にあり、忘れることなんてないなと。いつか父もお墓に入る日が来たら、父との思い出話をたくさんしながら、息子と一緒にお墓に参りに行こうと思います。そして、今息子と一緒に過ごせる幸せな日々を噛みしめて、両親からたくさんもらってきた温もりを今度は私が息子に伝えていければと思っています。

### <2年> 「どこんじょうだいこんの 大ちゃん」

#### ○わたし・ぼくが思ったこと

わたしが思ったことは、大ちゃんのいのちがなくなりそうになってかなしかったことです。なぜかといううたれもおせわしてないのに、いっしょうけんめいそだつ大ちゃんは、すごいにおられるともういのちはかえってこないかです。だから、しゃくしょで大ちゃんを元気にしてほしいし、わたしも、じぶんのいのちや人のいのちをたいせつにしたいです。



#### ○お家の方の感想

平成17年のテレビニュースで、大ちゃんの事が大々的に報道されていたことを思い出しました。アスファルトの割れ目から芽を出し、精一杯生きて成長している様子は、当時も今も「遅しくて、すごい力だ」と感じます。地域のお子さんに、このようにやさしい気持ちで手をかけてもらっていたことは、知りませんでした。何度か読むうちに、相手を思いやり接することの意味を感じとっていたようです。まだまだ2年生、小学校生活の中で、これから色々な試練が待ち受けています。どんな環境でも、あきらめない心を周りの人と労い合い過ごす温かい心を大ちゃんから思い起こしてもらえそうな言葉かけをしていきたいと思っています。

### <3年> 「オサムシくん」

#### ○わたし・ぼくが思ったこと

手づかさんは昔から「虫」や「絵を書く」ことがとても大好きでした。さいしょはおい者さんになりましたが、自分のしたいことをあきらめず、ゆう気を持ってマンガ家になったことが、わたしはすごいなと思いました。わたしも自分の好きな事を見つけることができれば、その好きな事を自分でかなえたいです。

#### ○お家の方の感想

一つのことに興味を持ち、愛情を注ぎ続けられるということは、一つの才能だと感じました。あまりに多くの快樂やエンターテイメントに容易にアクセスできる現代では、色々なことに目移りしてしまいがちですが、何か一つでも頑張り続けられる物事を身につけてほしいと思います。